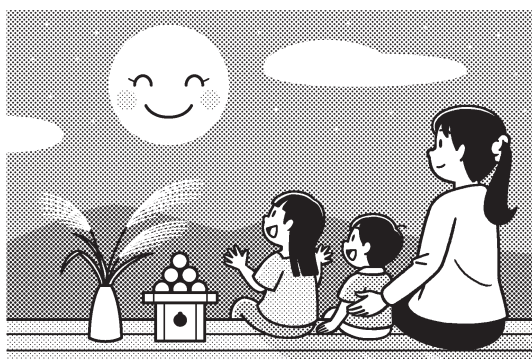


たのしくたべようニュース

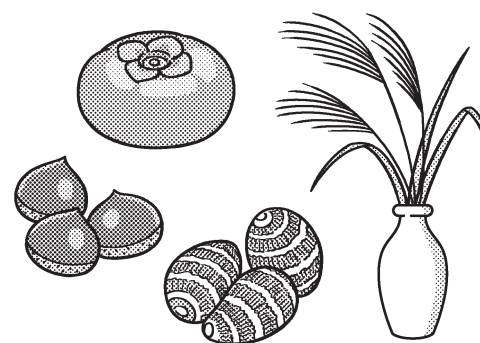
秋の行事 月見を楽しみましょう

月見は、秋の夜空に浮かぶ月を眺めて楽しむ行事です。旧暦8月15日の「十五夜」は美しい月が見られる日とされ、「中秋の名月」とも呼ばれています。これは、旧暦の7月から9月を「初秋」「仲秋」「晩秋」にわけたことに由来しています。月見だんごやススキなどを供えて、お子さんと一緒に月を楽しみましょう。



月見のお供えもの

月見だんごのほかに、さといもや秋の果物、秋の七草のススキなどをお供えします。



月見は2回

月見は、「十五夜」だけではありません。旧暦9月13日の「十三夜」も、月を楽しむ日です。昔から両方の月を見るのがよいとされています。

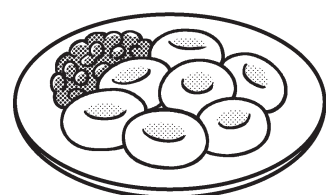
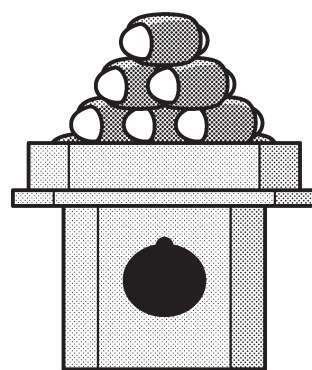
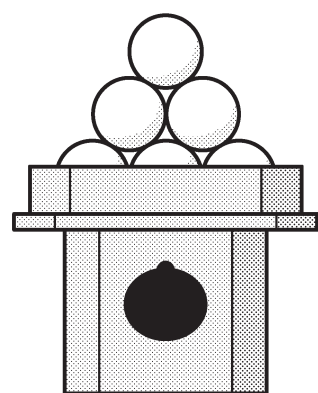
今年の
十五夜は
9月25日

十三夜は
10月23日
だよ

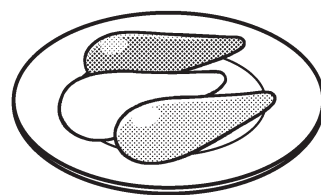


地域で異なる十五夜のだんご

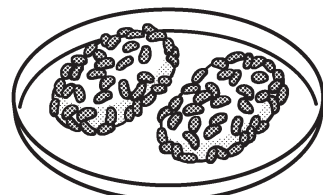
十五夜のだんごは、一般的に丸い形ですが、関西地方の一部では、さといもに似せた形のだんごに、あんを巻いたもの、静岡では中央がくぼんだ「へそもち」、名古屋ではさといも形のだんごを供えます。沖縄では旧暦8月15日に、塩ゆでした小豆をまぶした「ふちゃぎ」を火の神に供え、豊作を祈る風習があります。



静岡



名古屋



沖縄

月見だんごを食べる時は 窒息に気をつけて

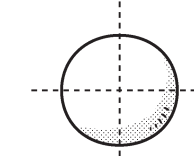
月見だんごを食べる時は、窒息などの危険を考えて、だんごを小さく切って、よくかむように伝え、ゆっくり食べさせることが大切です。

遊びながら食べたり、急いでのみ込んだりしないよう、おとなが見守りましょう。

よくかんで



小さく切って



防災の日 ローリングストックで無理なく備える

ローリングストックとは、ふだん食べている食品を少し多めに備え、使ったら買い足す方法です。「備える→食べる(飲む)→買い足す」をくり返し、無理なく災害に備えられます。レトルト食品や缶詰、水のほか、子どもの好きな食べ物や菓子もあると、災害時の安心につながります。防災の日を機に、家族で備蓄品を見直しましょう。



ほけんニュース

体の中を流れる 血液

血液は、わたしたちの体のすみずみまで流れながら、生命を維持するための、さまざまな働きをしています。血液の成分や、どのような働きをしているのかを見てみましょう。

血液の成分と働き

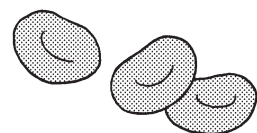
血しょう
約55%

赤血球
約44%

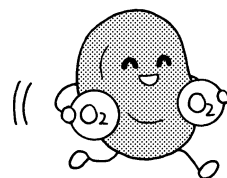
白血球
血小板
約1%



赤血球

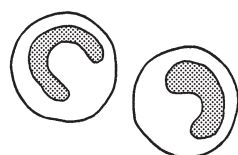


酸素や二酸化炭素を運ぶ

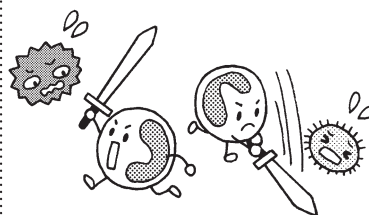


全身の細胞に酸素を運びます。酸素を届け終わると二酸化炭素と結びついて、肺に送られます。

白血球

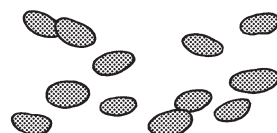


さまざまな異物と戦う

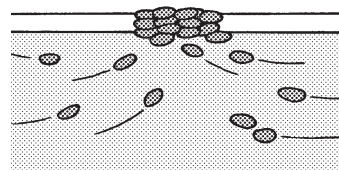


体内に侵入したウイルスや病原菌などのさまざまな異物と戦い、感染症などを防ぐ働きをしています。

血小板



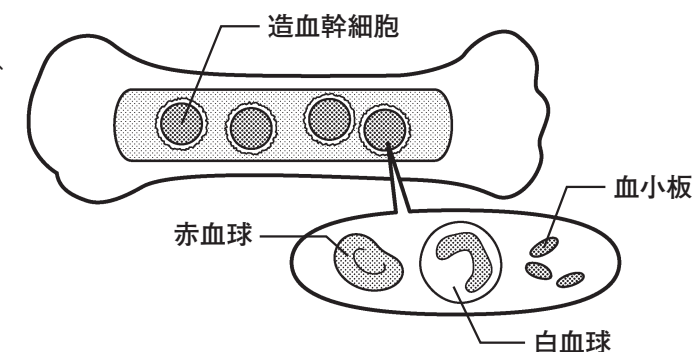
出血を止める



けがをして血管が傷つくと傷口に集まり、止血するなど、血管のメンテナンスの働きをしています。

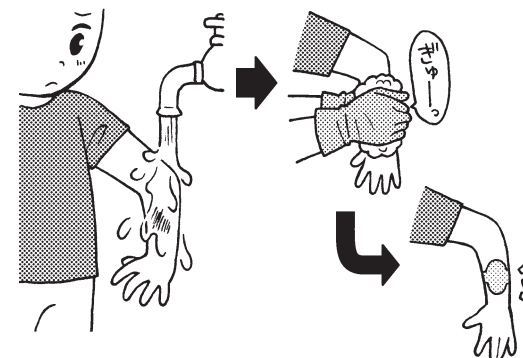
血液はどこでつくられているの

赤血球、白血球、血小板などは、骨の中心部にある骨髓に蓄えられている造血幹細胞からつくられています。同じ細胞が変化してできていますが、それぞれの役割は異なります。



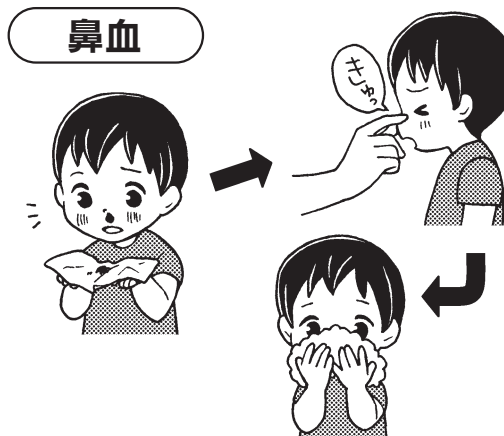
血が出た時の日常的な応急手当

すり傷・切り傷



傷口を流水で洗い、清潔なガーゼなどで水気を拭き取ります。出血がある時は、清潔なガーゼなどを厚めに折りたたんで傷口に当て、手や指で約5分間強く押さえて止血します(ビニールの手袋などを使用して、血液に触れないようにします)。その後、ばんそうこうなどで傷を保護します。

鼻血



出血の程度を確認します。座らせて、軽く下を向けさせます。小鼻をつまみ、3分以上、強く圧迫します(この時に口をあけて呼吸させます)。その後、安静にして、ぬらしたタオルなどで冷やします。

頭を打った後の鼻血は、脳などへの影響が心配されるので、病院を受診しましょう。

#8000

夜間や休日 子どもの症状に困ったら

夜間や休日、子どもの体調が悪くなった時に、どう対処したらよいのか、病院へ行った方がよいのか悩む場合があります。そんな時には「#8000」に電話をかけると、医師、看護師からアドバイスを受けられます。



あんぜんだより

監修 全国学校安全教育研究会／東京都荒川区立南千住第二幼稚園 園長 立石晃子先生

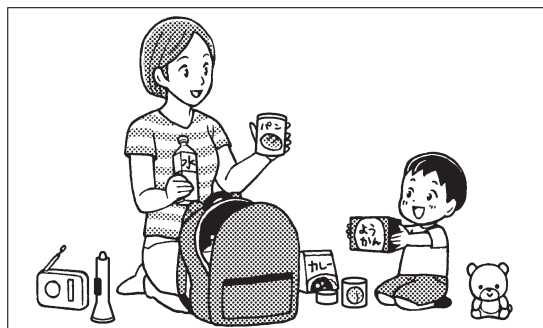
台風は1年間を通して発生しますが、最も発生数が増えるのが8月です。その一方で、日本に上陸する台風の数も、9月の方が多くなる傾向にあります。日頃から防災対策をしっかり準備し、台風が来た時には、早めの適切な行動を心がけて、安全に過ごしましょう。



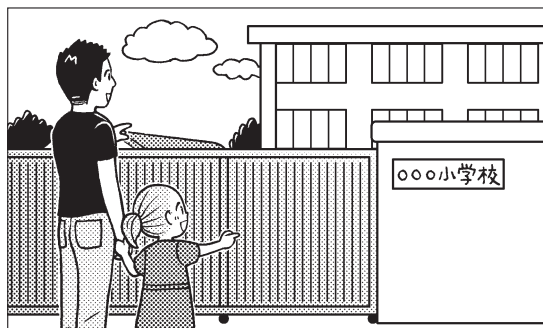
台風シーズン到来！安全に過ごすための備えをしましょう

たいふうが やって きた ときには どう すれば よいのかな

ひごろからの じゅんび

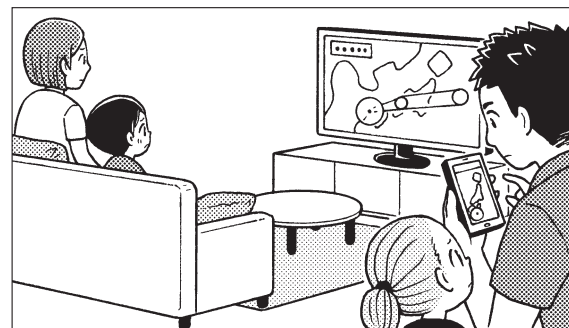


おうちの ひとと いっしょに
ひなんぶくろを かくにん。



ひなんじょの ばしょを
かくにん して おこう。

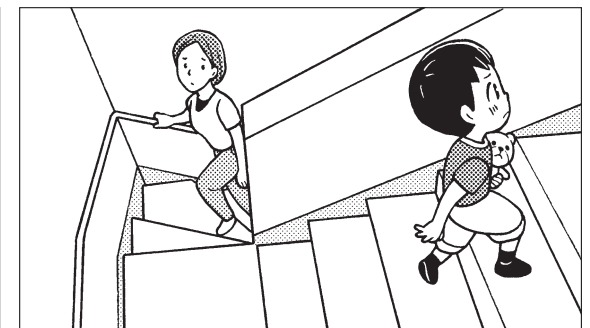
おおあめや おおかぜの きけんから みを まもる ためには



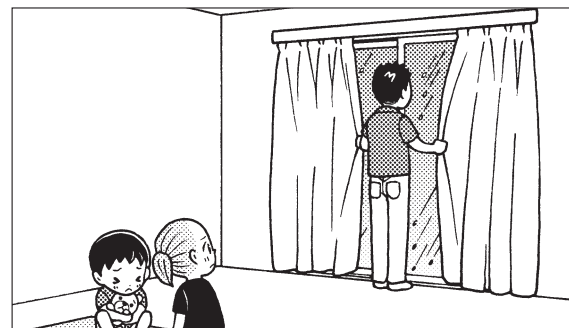
てんきよほうなどを みて
じょうほうを あつめよう。



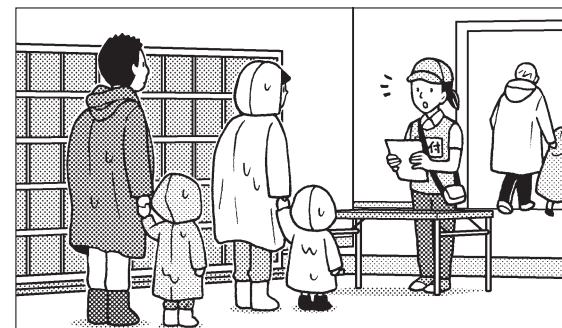
たいふうが ちかづいたら
いへの そとへは でない。



できるだけ たかい ところ
にある へやの なかで すごす。



ものが とんで くるから
まどの そばには いない。



おうちが あぶない ときは
はやめに ひなん しよう。



たいふうが とおりすぎても
みずの そばには いかない。

保護者の方へ 台風の接近や通過が予想される時は、テレビやラジオなどの天気予報で正確な情報を入手することが大切です。不要不急の外出はやめ、できるだけ高い場所の屋内で過ごしてください。強風による飛来物で窓ガラスが割れる危険がありますので、雨戸やカーテンなどを閉め、窓からは離れてください。台風の接近中、通過中はもちろんですが、完全に通り過ぎて雨が降りやんだとしても、数日の間は急な増水の危険がありますので、川や用水路、貯水池などのそばには近づかないようにしましょう。

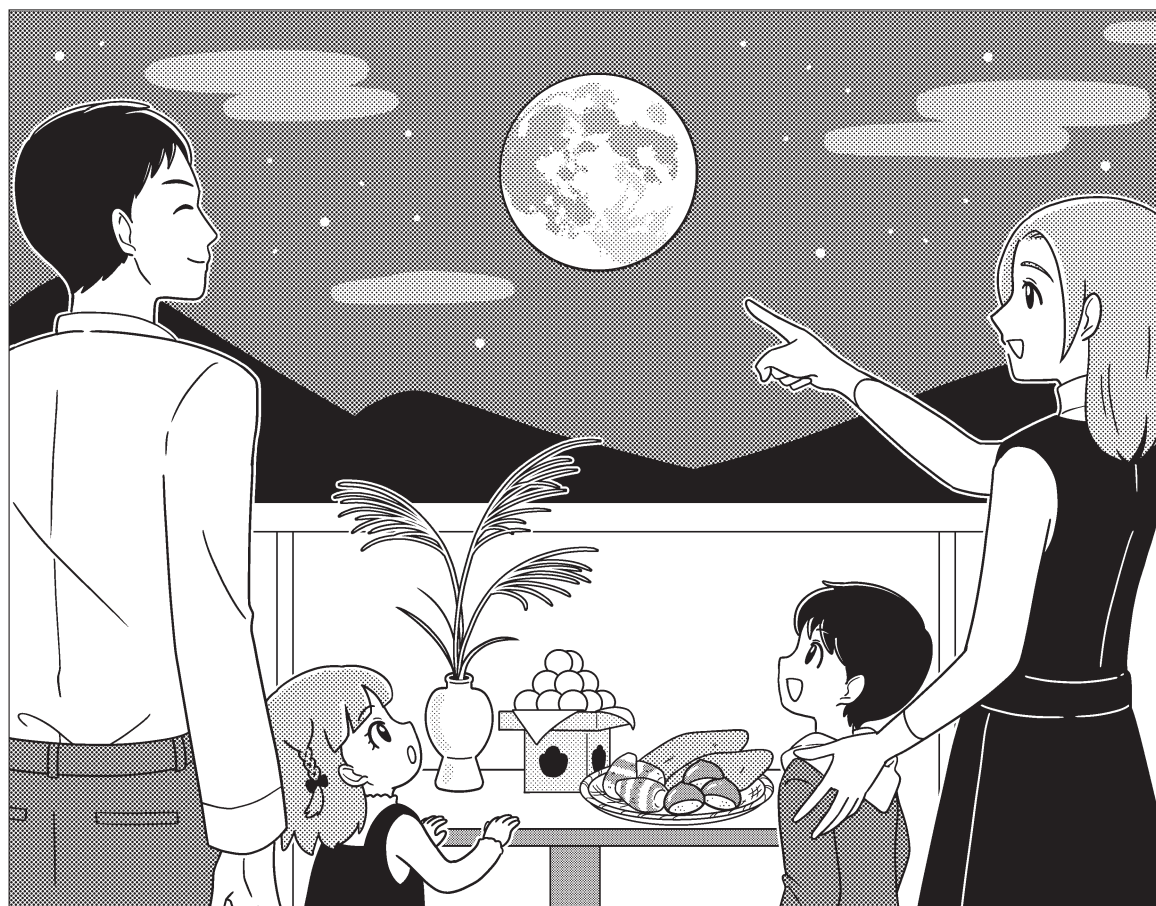
10月号では「飛び出しの危険」について取り上げます。

わくわくはっけんニュース

変化する月の姿を楽しみましょう

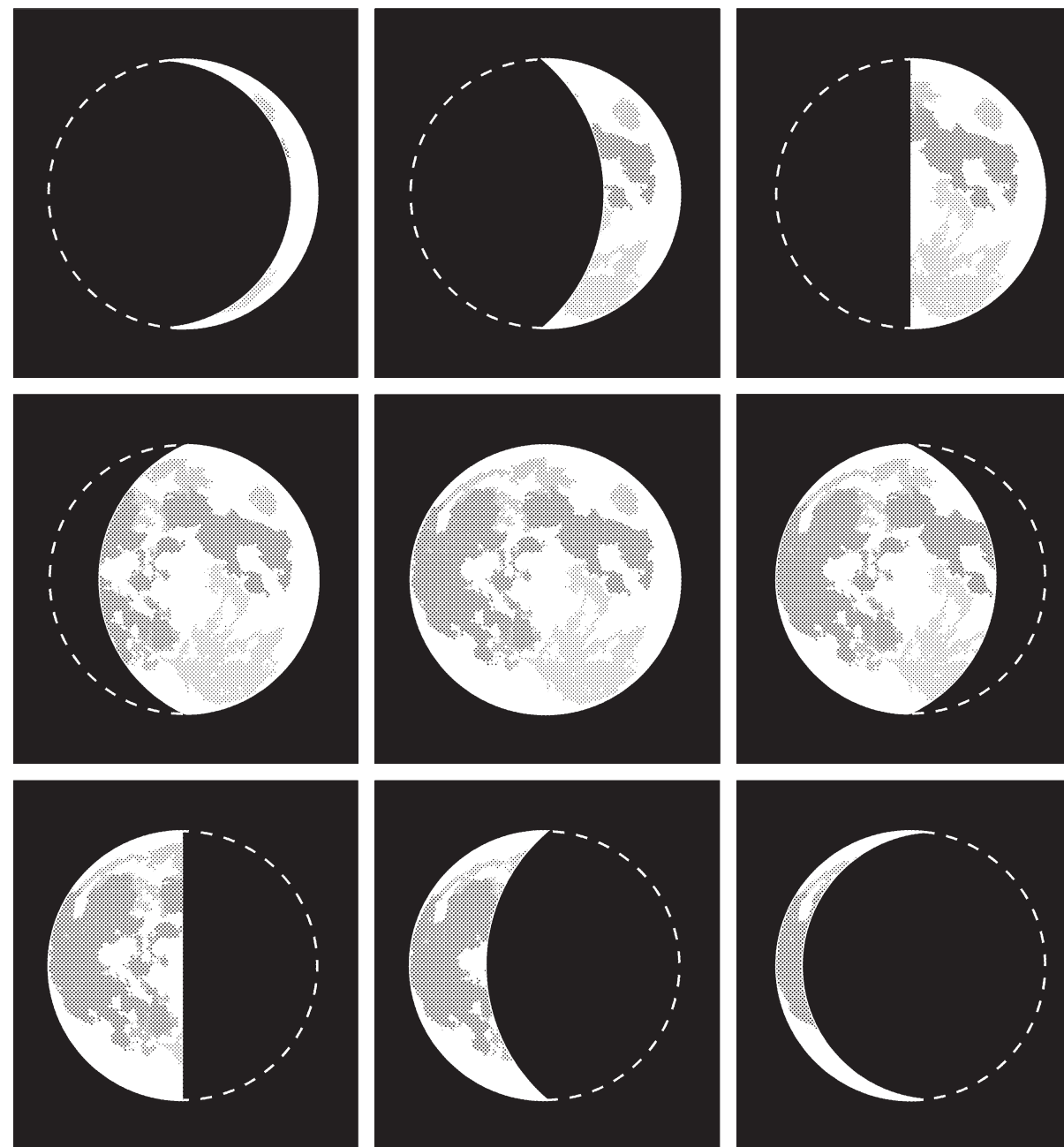
日ごとに姿を変えていく月の満ち欠けは、私たちにもっとも身近な天体ショーです。今年の「中秋の名月」は、9月25日。家族でお月見をしながら、大昔の人が見たのと変わらない、月の姿を楽しみましょう。

まんまる おつきみ きれいだね



あきの よるに おつきみを する「ちゅうしゅうの めいげつ」があるよ。こしは 9がつ 25にちだよ。みんなの まちからも きれいに みえると いいね。

みちたり かけたり
すがたの かわる おつきさま



たいようの ひかりに てらされて つきは ひかるんだよ。
ほんとうの つきの かたちは かわらないけれど あたる
ひかりの ほうこうで みえかたが かわって くるんだよ。